

令和 7 年 6 月 2 0 日
地域創生部文化財保護課
文化財活用係 電話 027-898-3548 内線 3548

国史跡の追加指定について

令和 7 年 6 月 2 0 日（金）に国の文化審議会（会長 しまちひろゆき 島谷弘幸）が開催され、本県所在の史跡 1 件について追加指定が答申されました。

1 答申が行われた本県所在の史跡

そうじゃこふんぐん 総社古墳群（群馬県前橋市総社町総社 3 5 3 番 3 ほか）※詳細は別添資料を参照ください。

- ・ 5 世紀後半から 7 世紀後半にかけて首長墓が連綿と築かれ、首長層の墓制の変遷過程を把握できる貴重な古墳群です。
- ・ 各古墳は畿内地域との深い関連をうかがわせる要素を有しており、ヤマト政権との政治的関係を知る上でも重要です。
- ・ 今回は、これらの古墳のひとつである、二子山古墳の周堀範囲のうち、後円部北東から南東にかけて、くびれ部南側、前方部北側の場所が追加指定されます。

2 今後の手続き

- ・ 文部科学大臣による官報告示を経て指定となります。
- ・ 群馬県内の国指定史跡は 5 2 件（特別史跡 3 件を含む）です。
※今回は既に指定されている史跡の追加指定のため、件数に変更はありません。

3 関係機関 連絡先

前橋市教育委員会事務局文化財保護課 0 2 7 - 2 8 0 - 6 5 1 1

史跡 そうじゃこふんぐん 総社古墳群（前橋市）の追加指定について

- ① 総社古墳群は、5世紀後半から7世紀後半にかけて首長墓が連綿と築かれた古墳群で、各古墳の様相からはヤマト政権との深い関連を伺うことができます。
- ② 今回、前橋市教育委員会が土地所有者に史跡指定への理解を求め、同意を得た箇所などが追加指定されます。

1 指定履歴

史跡指定	二子山古墳	史跡指定	昭和2年4月8日 内務省告示第315号
	宝塔山古墳	史跡指定	昭和19年11月13日 文部省告示第1080号
		追加指定	令和3年10月11日 文部科学省告示第169号
	蛇穴山古墳	史跡指定	昭和49年12月23日 文部省告示第176号
		追加指定	令和3年10月11日 文部科学省告示第169号
統合・追加指定及び名称変更			
	総社古墳群	遠見山古墳、二子山古墳、愛宕山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳	
統合・追加指定及び名称変更		令和6年2月21日 文部科学省告示第14号	

2 所在地（今回追加指定分）

前橋市総社町 そうじゃまちうえのあざ ふたごやま 総社町植野字二タ子山 353番3外 40筆 （二子山古墳）

3 面積

既指定面積	31,358.94 m ²
今回追加指定面積	4,847.83 m ²
合計	36,206.77 m ²

4 所有者（今回追加指定分）

民有地（3名）	4,773.83 m ²
市有地	74.00 m ²
合計	4,847.83 m ²

5 概要

(1) 追加指定の経緯

- ・これまでの調査結果をもとに土地所有者と前橋市教育委員会が協議を行い、同意を得ることができた部分について、令和7年2月に文部科学大臣あてに史跡の追加指定について手続きを行い、今回指定となりました。

(2) 立地

- ・現利根川の右岸に台地上に所在し、南北約4kmの範囲に分布しています。
- ・本古墳群の南西1kmほどの場所には7世紀後半の創建と考えられる山王廃寺^{さんおうはいじ}が位置し、奈良時代には南2kmほどの場所に上野国府^{こうずけこくふ}や国分僧寺・尼寺が築かれるなど、**総社古墳群周辺は古代上野国の政治・文化の中心となる地域**です。

(3) 総社古墳群について

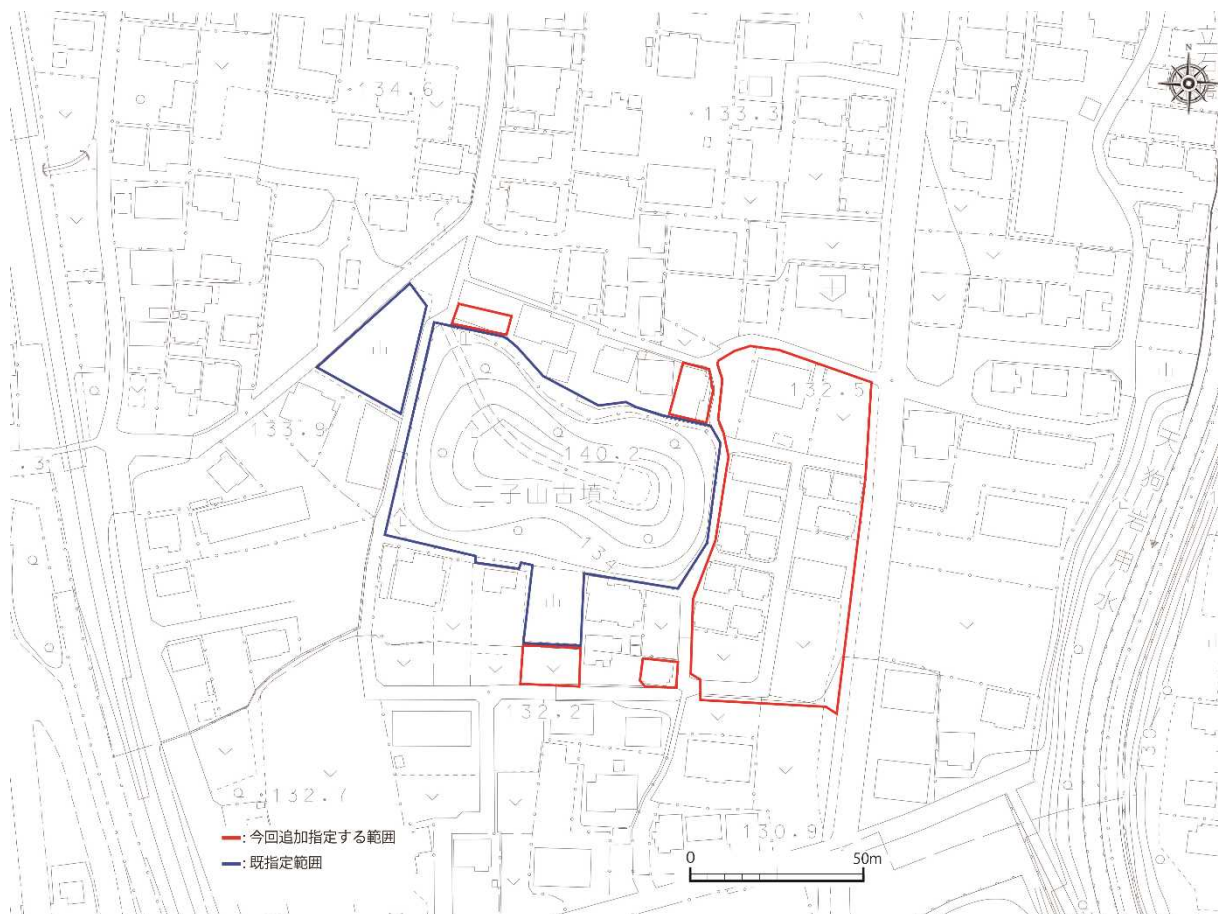
- ・総社古墳群は5世紀後半から7世紀後半にかけての大型古墳によって構成され、畿内とほぼ同時期に前方後円墳から方墳への変化と古墳の築造停止が見てとれる、**東日本有数の古墳群**です。
- ・長期間にわたって地域の首長墳が築かれ続けた意義は大きく、首長層の墓制の変遷過程を把握できる貴重な古墳群です。各古墳の様相からは**ヤマト政権との深い関連**を伺うことができます。

(4) 総社古墳群位置図（前橋市教育委員会提供 ※一部加工）

●・・・総社古墳群 ●・・・周辺史跡



(5) 追加指定地の位置図（前橋市教育委員会提供）



(6) 総社古墳群 航空写真 (前橋市教育委員会提供)



(7) 総社古墳群 二子山古墳

